

令和3年度農村工学基礎技術研修(第1回)に参加して

技術移転部 技術研修室

5月より実施しておりました「農村工学基礎技術研修(第1回)」が7月20日をもって閉講いたしました。

今回は、本研修を受講した研修生2名のコメントを紹介いたします。

○今回の農村工学基礎技術研修(第1回)に参加する前は、2か月の期間は長いなと思っていましたが、研修を受けてみると講義内容の充実さや、若手職員同士のつながりが増えたりして受けて良かったと思える研修になりました。

研修の内容は、数学、水理学、土質力学、構造力学、コンクリートの設計と技術者として必要な基礎をたっぷりと学べる内容でした。農研機構の연구원の方やコンサルタント、大学教授等の外部講師の方々のテキストに沿った分かりやすい解説のおかげで、技術者として成長できたと思います。また、座学のみではなく実習も行うことで、実際に講義で学んだ内容を目で見たり、コンクリートの圧縮強度試験等の普段やることのない試験等も体験でき、とてもいい経験になりました。(東北農政局Yさん)

○私自身、今まで現場での工事担当の経験がなく、1から学ぶ目的で今回の農村工学基礎技術研修に参加させていただき、2か月間の中で、水理学、土質力学、構造力学などの専門的分野を座学はもちろん、実習を交え学ぶことができました。

特に、農工研の大規模な施設の中で行った、水理実習、コンクリート試験実習はとてもいい経験が出来ました。研修の後半では農工研の最新技術等も見学することができました。もっと早くに研修希望を出しておけばよかったと後悔しました。

また、本研修では全国の同世代の方が集まり、親睦を深めるいい機会でもありました。コロナ禍ということもあり、色々と制限はありましたが、実習等を通して仲を深めることができました。研修が終わってしまうのはさみしい部分もありますが、今後もこのつながりを大切にして、仕事に関わることができたらいいなと思っています。(九州農政局Kさん)



(研修生集合写真：ドローン撮影 R3.6.2)
※撮影の瞬間のみマスクを外しています。